

作成日：2023 年 02 月 16 日

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心臓 MRI 画像を用いた心外膜脂肪と右室壁運動の関連性

1. 研究の対象および研究対象期間

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院循環器内科において心臓 MRI を行なった患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

心外膜脂肪組織（epicardial adipose tissue：以下 EAT）は心臓と冠状動脈を覆う特殊な種類の内臓脂肪であり、様々な炎症性サイトカインが放出されるため、隣接した心筋や冠動脈に影響を及ぼします。心臓 MRI は右室機能の評価が可能であり、右室機能の低下は肺高血圧症予後予測因子であります。EAT 厚と冠動脈硬化症の関連性を示す報告はありますが、右室壁運動との関連性についての報告は少ないです。本研究は心臓 MRI 画像を用いて EAT 厚と右室壁運動の関連性を調査し、肺高血圧症の予測が可能であるか検討します。心臓 MRI を撮像した患者の EAT 厚を測定します。測定方法は心筋 MRI 検査の 4chanber 画像を用いて右側房室間溝、左側房室間溝、心尖部の 3 か所で EAT の厚みを測定し、その 3 か所の測定厚を合計することで EAT 厚とします。心臓 MRI を撮像した患者の MRI 画像より画像処理ソフト VICENT を用いて右室、左室駆出率を求めます。EAT 厚と右室駆出率との関連性を求めます。ROC 解析を行い、EAT 厚あるいは右室駆出率から肺高血圧症の Cut-off 値を算出します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院循環器内科において心臓 MRI を行なった患者さんの患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）および臨床検査画像（心臓 MRI）を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 放射線技術部 氏名：池田 裕亮

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-974-6230

研究責任者：池田 裕亮